

第2回 横浜市金沢区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和7年3月31日（月）午後0時40分～午後1時30分
開 催 場 所	金沢区役所3階1号会議室
出 席 者	【選定委員会委員】 委員長 叶谷 由佳 （横浜市立大学医学部看護学科老年看護学教授） 委員 赤木 葉子 （東京地方税理士会横浜南支部税理士） 魚谷 晶子 （金沢区主任児童委員連絡会代表） 山岸 満里子 （障害児者いきいきネット代表） 【事務局】 金沢区福祉保健センター担当部長 中山 陽子 金沢区福祉保健課長 平 佳子 金沢区福祉保健課事業企画担当係長 和泉 大 金沢区福祉保健課事業企画担当 黒田 大介、松崎 応介 金沢区高齢・障害支援課長 富岡 幸世
欠 席 者	あり（小沼 春日（関東学院大学社会学部現代社会学科教授））
開 催 形 態	一部非公開（指定管理者の候補者（以下、「指定候補者」という。）の選定に関する審議について非公開）（傍聴人：なし）
議 題	1 審査方法等について 2 申請法人の財務状況について 3 面接審査 4 指定候補者の選定 5 指定候補者の審査講評 6 今後のスケジュール
決 定 事 項	指定候補者として、次のとおり、横浜市金沢区長に報告することとする。 1 横浜市金沢区福祉保健活動拠点の指定候補者 社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会
議 事	<u>1 審査方法等について</u> 事務局から、社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会から申請書類の提出があった旨を報告するとともに、次の3点について確認した。 ○委員会の公開・非公開 申請団体審査、指定候補者の選定に関する審議について非公開とすることを確認。（第1回委員会で審議済み） ※なお、申請団体の面接（プレゼンテーション及びヒアリング）は公開。 ○面接審査の進め方及び質問項目の確認 （事務局） ・面接審査の全体の流れ、質疑応答の流れ、最終審査の流れについて説明。 ・最低制限基準に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。

	(委員) ・ヒアリング時の質問項目を確認した。 ○申請団体の資格要件等について (事務局) ・資格要件について、「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して、神奈川県警に照会した結果、該当しないとの回答を受けた旨や市税納付状況等の確認を行った結果、資格要件を満たしている旨を報告。 ・欠格事由に該当しないことを報告。 ○本市重要政策を踏まえた申請団体の取組状況及び前期実績報告書について (事務局) ・資料3に沿って説明をした。 <u>2 申請法人の財務状況について</u> 事務局及び赤木委員より資料4に沿って説明をした。 <u>3 面接審査</u> (1) プレゼンテーション 団体から、団体の概要、事業計画等について説明 (2) 主な質疑応答 (委員) 今後課題だと考えているものは何か。 (団体) 担い手の高齢化が進んでいるため、次世代にも繋がるよう新たな担い手の育成を行わないといけないと考えている。また金沢区は地域活動が活発だが、民生委員・児童委員が聞いている日頃の困りごとと上手く結びつけられていないことがあるため、双方を繋ぐ動きが大切だと考えている。 (委員) 災害時の対応について、どのように考えているか。 (団体) 災害ボランティアセンターを運営することになっているが、その運営をする災害ボランティアについて、現在登録を広げているところ。未曾有の災害が起きた際の想定は難しいが、災害ボランティアセンターを立ち上げるためにいきいきセンターで我々職員が参集できるのか、災害ボランティアをしていただく方も被災者となるので、初動をどうするかが課題であるため、毎年災害ボランティアセンターの立ち上げシミュレーションを行っている。 (委員) 毎年ボランティアの数が減っているというお話だったが、どのように防いでいくのか。
--	--

(団体)

まずはボランティアセンターについて周知を行う。また子どもの付き添いを行うなど活動ごとに必要なボランティアもあるので、目的ごとに具体的な活動をご提示して周知を行う。更にいきなり登録してもどんなボランティアがあるのか分からないこともあるので、まずは実際に活動されている方と気楽に交流をしていただいたり、試しに1回参加をしてもらったり、みんなのレストランで顔を出していただいたり、少しでも具体的な活動に繋がるよう工夫している。

(委員)

みんなのレストランの対象者は。

(団体)

子どもから高齢者の方まで対象。

(委員)

男女共同参画の推進について、ある程度女性のサポートは分かるが男性へのサポートはどうなっているか。結局男性もサポートしないと女性へのサポートにも繋がらないケースもあると思うが。

(団体)

人事面で連携している横浜市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会全体の取組としては、おっしゃるとおり女性が活躍するために男性へのサポートも必要だと考えているため、男性の育休取得も推進している。具体的な数字は持ち合わせていないが、男性の取得実績もある。

4 指定候補者の選定

横浜市金沢区福祉保健活動拠点

	申請団体	評価得点／満点	最低制限基準 得点／基準点
指定候補者	社会福祉法人横浜市 金沢区社会福祉協議会	741／960 点	691／528 点

申請者の得点は、最低制限基準を満たしているため、選定委員会として社会福祉法人横浜市金沢区社会福祉協議会を指定候補者として選定することを決定する。

5 指定候補者の審査講評

ボランティアの確保について、ただ登録をしてもらうだけでなく登録後に様々なボランティアがあることを知ってもらったり、1回試しに参加してもらうなどして具体的な取組に繋がるような工夫がされていて良かった。

6 今後のスケジュール

選定結果の通知時期などを確認した。

資料・ 特記事項	<u>1 資料</u> (1) 横浜市金沢区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会委員名簿 (2) 横浜市金沢区福祉保健活動拠点指定管理者選定委員会の評価基準及び審査方法について (3) 前期の指定管理業務の実績報告書 (4) 財務分析結果報告書 <u>2 特記事項</u> 特になし
-------------	---